

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度第3回理事会報告

○日 時：令和 7年 6月5日(木) 13:00-17:55

○場 所：JSOS ビル 3F 会議室4 及び Zoom

○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村・町田常務理事、小高・栗田（途中から参加）・小田部・佐藤・島田・中島・中橋・西谷・畑中・望月・安井各理事 以上19名
佐久間・古屋監事 以上2名

○欠 席：杉本・濱田・樋口・平田各理事 以上4名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

今回は、総会直前で役員の改選を控えた理事会となりますが、よろしくお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中18名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))

監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 議事録の承認について(事前送付済)

令和7年度第2回理事会議事録について

理事会終了後に配布され、異議なく承認されている。

議案第2号 令和6年度総括・事業報告及び決算報告案について

小野寺専務理事が、前回から個々の事業について一部変更追記要求があったこと、赤尾事務局長が決算概要、古屋監事が、監査報告結果、監査所見を伝えた。その後、以下のように異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 18名

議案第 3 号 基本財産の処分について（案）について
赤尾事務局長が、前回理事会時に指摘のあった部分は、” 処分 “という表現が適切という顧問弁護士からの助言を文書に反映したことを伝え、以下のように異議なく承認された。
反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 18 名

議案第 4 号 小野寺専務理事の退職金支給に関する取扱いについて
基金に 100 万円以上拠出していただくことを条件に、全額規程通り支給するという案が提案され、以下のように承認され、総会では、報告とすることになった。
反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 18 名

議案第 5 号 正会員の入退会の承認について
小野寺専務理事が、香川、山形、宮城、島根、高知、新潟の正会員の入退会届の報告がされ、以下のように異議なく承認された。
反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 18 名

PM3:12 - PM3:20 休憩

議案第 6 号 次期役員選考、役職関連説明会等について
蛭田会長が、6 月 22 日の総会後の理事会で、代表理事をスムーズに決定するために、6 月 12 日（木）PM7:00 から、次期役員候補者による Zoom 会議設定の提案がされ、以下のように異議なく承認された。
反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 18 名

議案第 7 号 2027 宮崎国スポリハーサル大会について
町田常務理事が配布資料を基に、令和 9 年 7 月 3 日から 4 日で実施することを説明し、異議なく承認された。
反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 18 名

議案第 8 号 公認大会規程の改定について
栗田理事が、改定案の説明をし、審判長の指名の部分で、” 本協会技術委員会と協議の上決定する “という文面に変更し、その他の変更箇所を含め、以下のように異議なく承認された。
反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 19 名

議案第 9 号 パラクライミング協会との関係について

町田 SC 部長が、パラクライミング協会から、(1) JMSCA のガバナンスコードを参考にしたいこと (2) JMSCA 加盟団体の協力を得たい旨の要望がでており、現行覚書に“パラリンピック”という文言が加わる案を説明した。以下のように、異議なく承認された。総会時には、口頭で説明する。

反対 0 名、 棄権 0 名、 賛成 19 名

議案第 10 号 UIAA 委員会の設置について

古賀副会長が、標記委員会の設置を提案したが、継続審議ということになった。

議案第 11 号 定款上の業務執行理事の人数について

古賀副会長が、役員選考規程の文言に合わせて、“ただし、業務執行理事は、理事の半数を超えてはならない”という文言を、定款に挿入することを提案したが、運用上このままでも対応できることから、定款変更は見送られた。

7. 報告

報告第 1 号 月次報告、キャッシュフロー

赤尾事務局長が、5 月末時点のキャッシュフロー状況の説明をした。

報告第 2 号 財政再建計画について

望月理事が画面に表示し、概要の説明をした。

報告第 3 号 山岳共済会令和 6 年度決算、令和 7 年度予算案

小野寺専務理事が、配布済資料を基に説明した。

報告第 4 号 委員会常任委員について

今回は申請なし。

報告第 5 号 港区クライミングオープンセレモニー覚書について

栗田理事が状況を説明した。

報告第 6 号 業務執行理事の職務報告について

各業務執行理事が事前配布資料をもとに当内容を説明した。

報告第 7 号 UAAA 総会について

JMSCA の役員は参加しない。神崎顧問が出席予定。

報告第 8 号 公認大会の開催の承認について

スポーツクライミングいわてカップ 2025、ファインテン・
マムートカップ 2025、岸和田 CANSAN カップ 2025 が公認大会と
して承認された。

8. その他

- * ”A 選手登録のための義務研修” は、オンライン中心となり費用削減が見込まれる。
- * 赤尾事務局長から、委員会と事務局の業務分担で、改善可能性のある項目を一覧表で紹介した。発生費用は、各委員会に直接課金するようにすべきと監事からの助言があった。
- * 領収書がないものの精算方法について、どう対応するのか、事務局から、後日、理事および、委員会に伝達予定。

令和 7 年 6 月 5 日

記録 赤尾 浩一
議事録署名人

会 長 _____

監 事 _____

監 事 _____

以 上